

芝公園だより

◆2024年1月21日から2月20日までの間における送付文書や会議等の開催状況等についてお知らせします。

2024年1月

- 1月22日
 - ▶第239回社会保障審議会介護給付費分科会(厚生労働省)
標記分科会に東憲太郎会長が委員として出席
 - ▶第4回外国人介護人材の業務の在り方に関する検討会(厚生労働省)
標記検討会に平川博之副会長が構成員として出席
 - ▶「DMSP(全老健災害相互支援)『プロジェクトA』『令和6年能登半島地震』における要援護者受入れ調査について」(全老健第5-234号)
東海・北陸、近畿ブロックおよび甲信越の会員、支部長あてに送付
- 1月23日
 - ▶FAXニュースvol.116
正会員、団体賛助会員、支部長、マスコミあてに送付
 - ▶e-roken flash 令和6年度介護報酬改定について
登録会員あてに配信
- 1月26日
 - ▶令和5年度第19回正副会長会
当面の諸問題について検討
 - ▶令和5年度第10回常務理事会
令和6年能登半島地震、社会保障審議会介護給付費分科会、医療介護総合確保促進会議、医療・介護・障害福祉関係団体との賃上げに関する意見交換会等について報告後、検討
 - ▶令和5年度第3回総務・企画委員会
令和6年度事業計画(素案)、令和6年度収支予算(素案)等について検討
- 1月29日
 - ▶「令和6年度介護報酬改定(概要)説明会の開催について(ご案内)」(全老健第5-232号)
会員、支部長あてに送付
 - ▶e-roken flash 介護報酬改定(概要)説明会を開催します
登録会員あてに配信
- 1月31日
 - ▶e-roken <第469号> 能登半島地震 全老健

DMSP活動中

登録会員、登録申込者あてに配信

2024年2月

- 2月1日
 - ▶第22回九州ブロック介護老人保健施設大会 美ら沖繩ちゅうちんあ(主催:公益社団法人全国老人保健施設協会九州ブロック、沖縄県老人保健施設協議会)
沖縄県内にて開催された標記大会に東憲太郎会長が出席、講演
- 2月2日
 - ▶「令和6年1月末日現在公益社団法人全国老人保健施設協会正・準会員加入・申込状況等の送付について」(全老健第5-237号)
役員、支部長あてに送付
- 2月5日
 - ▶「公益社団法人全国老人保健施設協会次期役員改選の公示について」(全老健第5-241号)
会員、支部長あてに送付
 - ▶第8回健康・医療・介護情報利活用検討会介護情報利活用ワーキンググループ(厚生労働省)
標記ワーキンググループに高橋肇常務理事が構成員として出席
- 2月9日
 - ▶令和5年度第20回正副会長会
当面の諸問題について検討
 - ▶令和5年度第2回定例理事会
付議されたすべての議案について承認(本誌p.37に掲載)
- 2月14日
 - ▶FAXニュースvol.117
正会員、団体賛助会員、支部長、マスコミあてに送付
 - ▶e-roken flash 介護職員処遇改善支援補助金の対象職種等について
登録会員あてに配信
- 2月15日
 - ▶第5回外国人介護人材の業務の在り方に関する検討会(厚生労働省)
標記検討会に平川博之副会長が構成員として出

席

▶e-roken <第470号> 能登半島地震 全老健 DMSPプロジェクト進行中

登録会員、登録申込者あてに配信

2月16日

▶第30回和歌山県介護老人保健施設大会(主催: 一般社団法人和歌山県老人保健施設協会)
和歌山県内にて開催された標記大会に東憲太郎会長が出席、講演

2月19日

▶「令和5年度第1回臨時社員総会の開催について(通知)」(全老健第5-249号)

会員あてに送付

▶令和5年度第5回事務検討会

事件事案を検討

▶e-roken flash 臨時社員総会の開催について

登録会員あてに配信

令和6年度介護報酬改定(概要)説明会開く

全老健は2月21日、都内で令和6年度介護報酬改定(概要)説明会を開催した。厚生労働省老健局の古元重和老人保健課長が令和6年度介護報酬改定のポイント、東憲太郎会長が令和6年度介護報酬改定に向けた準備について説明した。説明会はライブ配信で行われ、3,700名超が視聴した。なお、4月5日には、詳細な改定内容を伝える説明会を予定している。



厚労省の古元老健課長「機能の発揮を」

主催者挨拶で東会長は令和6年度改定について、「老健施設の経営が厳しいなか、がんばっている老健施設にとってはかなりのプラス改定になったと思う。この改定を機に全国の老健施設が機能を高めていただくことを期待している」と述べた。

続いて、厚生労働省の古元老人保健課長は「令和6年度介護報酬改定について——老人保健施設への期待——」をテーマに講演。老健施設の機能強化に向けた改定の内容をはじめ、◇介護職員の処遇改善◇医療・介護連携◇リハビリの充実◇LIFEの見直し——など改定事項のポイントについて解説した。

このなかで、老健施設を中心とした令和6年度トリプル改定の全体像を提示。老健施設に対し医療提供機能、在宅復帰機能、在宅療養支援機能について強化する方向で介護報酬改定を行ったと説明した。

また、今回の改定の大きな特徴として、「医療機関との連携を強めて、顔の見える関係をつくることだ」と述べ、◇平時からの連携の強化◇円滑な診療・入院◇早期退院の促進——を図るために介護報酬改定と診

療報酬改定で対応したことを示した。さらに、障害福祉サービス等報酬との同時改定であることから、障害福祉サービスとの関係も深めていける工夫をしたことをあげた。

その上で、「地域包括ケアシステムを担う老健施設にはその機能を発揮してもらい、今回の改定で強化した部分はまさに国民からの期待であるため、一緒に取り組んでいきたい」と呼びかけた。

東会長は令和6年度改定に向けた準備として、基本報酬の算定指標をはじめ、◇老健施設と医療機関との関係◇老健施設で算定できる加算◇LIFE関連◇訪問・通所リハビリ◇全サービス共通のテレワークの取り扱い——などについて説明した。

LIFEについては「科学的介護推進体制加算の算定要件が見直され、中身もかなり変わる。皆さんがデータを提出して、『フィードバックに役立つ』『他の施設と比較しても参考になる』と思うような項目に変わる。LIFEへのデータ提出頻度は3か月に1回になって、非常にシンプルになるので、期待してほしい」と述べた。

令和5年度

第2回定例理事会開く

全老健は2月9日、全老健事務局で令和5年度第2回定例理事会を開催した。令和6年度事業計画案など5議案について承認した。

令和6年度事業計画案を了承

冒頭挨拶で東憲太郎会長は、能登半島地震の対応について「全老健の災害時の仕組みはうまく機能したが、行政主体の被災地支援は現場には合っていない」と述べ、今後の改善を求めた。

令和6年度介護報酬改定については、「診療報酬との同時改定ということで、医療との連携がかなり大きな比重を占めている。老健施設と医療機関との連携をうまく図ってほしい」と述べた。

この後、全老健の監事である四藏直人石川県支部長が能登半島地震における石川県内の老健施設の被災状況を説明。全国の会員施設からの支援に感謝の言葉を述べるとともに、復興に向けた引き続きの支援を要請した。

議案は、第1号議案「令和6年度事業計画案」、第2号議案「令和6年度収支予算案」、第3号議案「令和5年度第1回臨時社員総会の開催」、第4号議案「新規入会申込者（令和5年12月1日～令和6年1月31日）」、第5号議案「会員変更申請者（令和5年12月1日～令和6年1月31日）」で、全会一致で承認された。

このうち、第1号議案と第2号議案は令和5年度第1回臨時社員総会に諮る。

介護報酬改定のポイントを説明

報告事項は、①業務報告②退会者③令和6年1月31日現在加入状況④代議員・予備代議員、支部およびブロッカー一覧について確認した。



業務報告では、東会長が令和6年度介護報酬改定のポイントとして、老健施設の基本報酬をはじめ、◇老健施設と医療機関との連携◇老健施設が算定できる加算◇LIFE関連◇介護職員等の処遇改善加算などその他◇訪問・通所リハビリ——について説明した。

老健施設の基本報酬については超強化型4.4%増、在宅強化型4.1%増、加算型2.9%増、基本型1.1%増、その他型1.0%増であることを示し、「よりメリハリがついた配分となっている。特養の平均は2.7～2.8%増であり、機能の高い老健施設はかなり高いアップ率となった」と評価した。

老健施設に関係する改定事項については「多岐にわたっており、全サービス共通の事項を入れると39項目。非常に改定事項は多いが、この内容を理解して対応していくことで老健施設の経営にプラスの影響がある」と強調した。

田中志子^{ゆきこ}副会長（全老健災害対策本部 副本部長）は、能登半島地震における「全老健災害相互支援プロジェクト『DMSP』」について説明。同プロジェクトの活動は「A：要介護高齢者の受入」「B：介護職員等の派遣」「C：支援物資」の3つ。介護職員等の派遣では1月末現在、全国の老健施設から金沢市の1.5次避難所に延べ258日間、64名の派遣職員のマッチングが完了していること、また、支援金の募集について報告された。

定款第27条第5項により、委員会等活動をはじめ、第34回全国大会宮城、教育事業、認定資格制度事業、安全推進事業、災害対策支援事業、制度対策事業、国庫補助事業等、老健施設人材確保・育成対策事業、調査研究事業、広報出版事業などについて報告された。